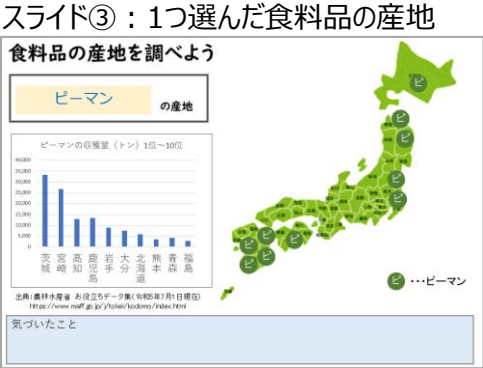
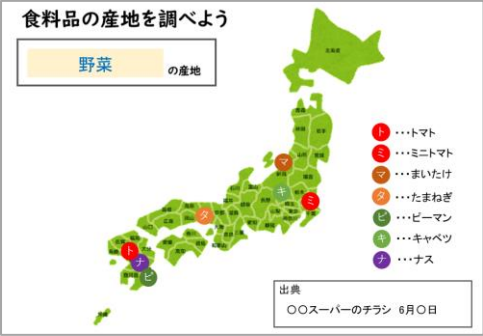


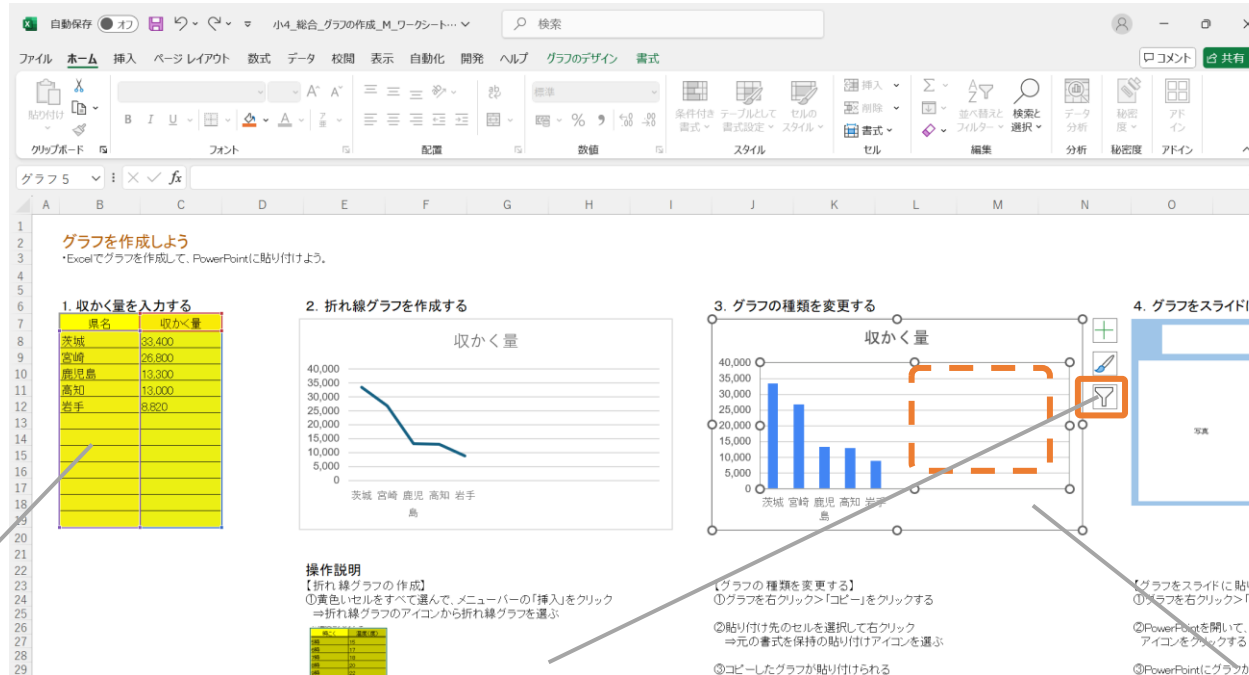
おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科	単元	活用ソフト
小	5	社会	農業・食料生産（生産物）「食料品の産地調べ」	プレゼンテーションソフト
授業内容	食料品の産地を調べて、産地の広がりについて考えよう			活用ツール 描画、テキスト入力
	準備： ・ワークシート用ファイル（スライド①、②、③）を準備する。 ・ワークシート用ファイルを課題として子供たちにコピーを配付する。			スライド①：選んだ食料品グループの食料品の産地
	授業の流れ： 1. 各自ワークシート用ファイルを開き、 <u>食料品のグループ</u> （野菜や果物、畜産品、水産物、米など）を1つ選び、 <u>グループに属する食料品</u> について、スーパーのちらしや、インターネットの情報、地図帳で産地を調べて地図に印をつける。（スライド①） 2. <u>先生に指定された食料品</u> について、生産量が多い県1位～3位までをインターネットで調べて県名と出典元をワークシートに書く。（スライド②） 全体で結果を共有し、自分とは違う県名を挙げた人が参考にしたサイトを見て、違う県が選ばれた理由を考える。（想定される理由：最新と書いてあるがデータが数年前のもの、など） 3. <u>1で調べた食料品から1つ選び</u> 、生産量の多い地域を調べて地図に印をつける。生産地と生産量を調べてグラフを作成する。調べた結果から、気づいたことを入力する。（スライド③） 4. グループで調べた結果を見せ合い、気づいたことについて話し合う。（スライド③） 5. グループで話し合ったことを、全体で共有する。			スライド③：1つ選んだ食料品の産地
ICT利活用のポイント		生産量について個人の調べ学習を行う前に、全員で同じ食料品を調べて結果を共有することで、インターネットの情報は調べるサイトによって違いがあることを知ることができます。		
おすすめポイント		ワークシート例をお使いいただけます。グラフを作成する際は、学びのDX応援コーナーの「小4 総合 グラフの作成」をお使いいただけます。		



イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

【Excel】学びのDX応援コーナー「小4 総合 グラフの作成」のワークシートを活用して グラフを作成する



- ①収かく量を入力する
- ・「温度を入力する」⇒「収かく量」に変える
 - ・セルのタイトルを「時こく」⇒「県名」、「温度（度）⇒収かく量（トン）」に変える
 - ・参考資料を元に、県名と収かく量を入力する
 - ・入力していない項目の値を消す

- ②空いているデータを削除する
- ・グラフを選択する
 - ⇒「グラフフィルター」をクリックする
 - ・カテゴリから空欄のチェックをクリックして選択を外し、「適用」を押す

- ③グラフをコピーしてスライドに貼り付ける

【Googleスプレッドシート】学びのDX応援コーナー「小4 総合 グラフの作成」のワークシートを活用してグラフを作成する

小4_総合_グラフの作成_G_ワークシート

③タイトルをダブルクリックしてタイトル名を変える
※フォントサイズや位置を調整する

1. 収かく量を入力する
2. 折れ線グラフを作成する
3. グラフの種類を変更する
4. グラフをスライドに貼り付ける

①収かく量を入力する
・「温度を入力する」⇒「収かく量」に変える
・セルのタイトルを「時こく」⇒「県名」、「温度（度）⇒収かく量（トン）」に変える
・参考資料を元に、県名と収かく量を入力する
・入力していない項目の値を消す

②データを入力した行を選択してグラフを作成する

④グラフをコピーしてスライドに貼り付ける

操作方法

県名	収かく量(トン)
茨城	33,400
宮崎	26,800
鹿児島	13,300
高知	13,000
岩手	8,820

ピーマンの収かく量

〇〇市の気温

温度（度）と時こく

③コピーしたグラフが貼り付けられる
④三点マークから「グラフを編集」をクリックする
⑤グラフの種類から、別の種類のグラフを選択する

③「リンク先で貼り付け」を選択して「貼り付け」ボタンをクリックする
④Googleスライドにグラフが貼り付けられる

出典：農林水産省 お役立ちデータ集（令和5年7月1日現在） <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kodomo/index.html>

GoogleスプレッドシートはGoogle LLCの商標であり、本資料はGoogleによって承認または提携したものではありません。